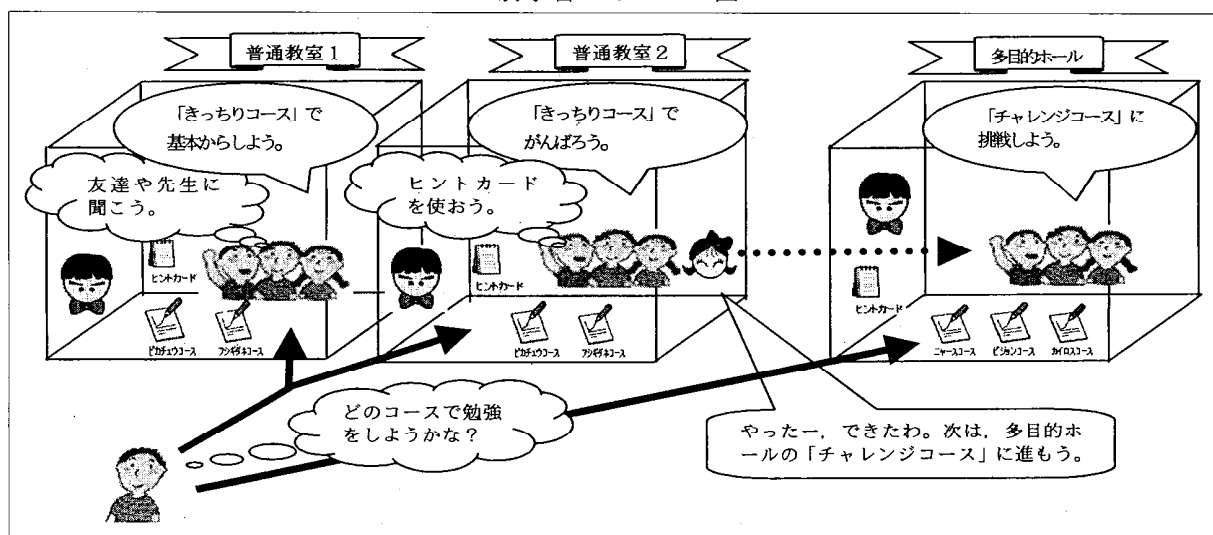


3 学力向上を図る具体的な取組

(1) 4年 算数科でのTTによる実践例

知覧小では、3・4年生を中心に算数科でのTTが行われており、学力向上に向けて様々な実践が行われていた。ここでは、指導計画の工夫により生み出された時間を利用して、1学期末に実施した4年生のコース別学習について紹介する。

コース別学習のイメージ図



まず、教師3人で本時のねらいと学習の進め方について共通理解し、役割を決める。

子どもたちは、自分の希望をもとに、自分の所属学級に関係なく普通教室1・2で行われる「きっちりコース」(プリント2枚)と多目的ホールで行われる「チャレンジコース」(プリント3枚)の二つに分かれ、それぞれのコースのプリント学習に取り組む。分からない問題があったときには、友達と相談したりヒントカードを利用したりして、意欲的に問題解決にあたっていた。

授業後の感想をみると、算数があまり好きでない子どもたちも「分からなかったら、ヒントカードがあったり、友達や先生に聞くことができたりして、すぐ問題が解けたから、コース別学習が好きだ。」とか「徐々に問題が難しくなっていくので、レベルの高い問題に挑戦していくのが楽しかった。」などと答えていた。

また、それぞれのプリントには、ピカチュウコース・フシギダネコースなど、ポケモンの名前を付けてあったことも、子どもたちの意欲を高めるのに役立っているように感じることであった。

(2) 5年 総合的な学習の時間「伝えよう！わたしたちの知覧」での実践例

自分たちの郷土を振り返り、自分が興味をもった郷土の産業、自然、施設、歴史を調べる中で、そのすばらしさやそこにかかわる人々の思いや願いに気づき、郷土に愛着を深めていくことをねらいとして、子どもたちが自分なりの方法(調べ方、まとめ方、発表の仕方等)を考えながら、主体的に取り組む学習が行われている。これは、知覧小学校の「基礎・基本の定着を図る授業改善の視点」を踏まえた実践である。